Call for Papers

第19回応用計量経済学コンファレンス

このたび、一橋大学・早稲田大学・東京大学・京都大学・大阪大学では、ミクロ計量経済学をフレームワークとして研究している大学院生ならびに若手研究者を集め、ワークショップ形式のコンファレンスを開催いたします。比較的少人数の大学院生・研究者が意見を密に交わすことで、ミクロ計量経済学的手法を用いた研究を奨励することが目的です。これまで組織委員のほか以下のような方々に討論をお願いしてきました。

過去の討論者(敬称略)：安藤道人、市村英彦、上田晃三、大橋弘、大山睦、奥井亮、河端瑞貴、鎌田拓馬、菊地信義、北野泰樹、北村周平、北村行伸、後藤潤、近藤絢子、佐藤泰裕、佐野晋平、澤田真行、高久玲音、高島正憲、田中万理、田中隆一、鳥谷部貴大、中嶋亮、中林純、中村さやか、服部正純、深井太洋、福元健太郎、福元真、古川知志雄、星野崇宏、山口慎太郎、山崎潤一、山根承子、横山泉、若森直樹、渡辺努、渡辺安虎など

日付 2024年11月9日(土)

開催様式 対面開催(予定) ※海外から発表する場合はオンラインでも可

場所 対面(小島ホール 東京大学本郷キャンパス)(予定)
オンライン(URL等は、参加者に別途ご連絡いたします)

(注)まだ確定しておりませんが、例年通り9時30分頃開始とし、解散時間は17時30分頃を予定しております。全日参加を原則とし、中途の参加退出はやむを得ない事情がない限りご遠慮ください。詳細な日程は決定次第別途お知らせいたします。

募集分野 ミクロ計量経済学的手法を用いた実証分析であれば分野は問いません。労働経済学、産業組織論、開発経済学、教育経済学、医療経済学、公共経済学、消費と投資、実験経済学、その他どんな分野でも可です。合計7～8本の論文の募集を予定しています。

募集対象 大学院生、ポスドク・研究員など有期契約の研究者。オフラインで参加される場合の旅費・宿泊費は、日本国内の旅費・宿泊費のみを対象として支給させていただきます。

討論形式 発表者25分程度、討論者10分程度、全員でのディスカッションを15分程度予定しております。各論文の討論者は組織委員会で決定いたします。英語による報告も可能です。

応募締切 2024年9月2日(月曜日)

氏名、所属、連絡先、報告タイトルを本文に記し、発表論文をpdfファイルで添付したメールを事務局宛(keisukekawata@iss.u-tokyo.ac.jp)お送り下さい。件名に「応用計量経済学コンファレンス応募論文」とお書きください。応募者多数の場合、選考によって不採択となる場合があります。2024年9月27日(金)までに発表論文およびプログラムを決定し、発表者には、メール等を通じてご案内いたします。

組織委員会：臼井恵美子、大竹文雄、大湾秀雄、川口大司、川田恵介、佐々木勝、高久玲音、中林純、西脇雅人、野口晴子、横山泉

事務局：東京大学社会科学研究所 川田研究室(川田: keisukekawata@iss.u-tokyo.ac.jp)

企画、内容に関するお問い合わせは川田(keisukekawata@iss.u-tokyo.ac.jp)までご連絡下さい。